

信州イスラーム世界勉強会

信州イスラーム世界勉強会主旨

「信州イスラーム世界勉強会」は、長野県内外の市民有志が自由かつ客観的な眼で自分たちにとってどんな身近な存在となりつつある、イスラーム教徒やイスラーム世界の動向を知り・考えて、それを自分たち自身の生き方や日本・世界の針路に役立てようとする学びあいの広場です。

2015年12月のキックオフミーティング以降、様々な催しにこれまで参加いただいた皆様のご協力・ご支援に心より感謝申し上げます。

パレスチナ・ガザの状況が爆発し、中東諸国もからむウクライナ戦争が止まぬ今、世界の新たな見方を共に学んでみませんか？

信州イスラーム世界勉強会

代表 板垣 雄三

問合せ先

信州イスラーム世界勉強会 事務局

〒390-0635 松本市高宮 1-36-1

TEL0263-50-5514 FAX0263-50-6106

ホームページ

<https://www.shinshu-islam.com>

ブログ

<https://muslimworld.naganoblog.jp>

信州イスラーム世界勉強会、2024年2月定例会は板垣雄三信州イスラーム世界勉強会代表による集中講座

「イスラエル・パレスチナ問題～入門から物知りへ最短コース～」です。元旦から、国内でも「能登半島地震」に見舞われ被災された皆さんには大変な日々を過ごしておられると思いますが、ガザ・パレスチナの情勢も混迷を極め心を痛めておられる方も多いかと思えます。

パレスチナからの生の声を聴き、理解し、現状を根元から理解することを企図した連続講義です。会場も設営しておりますが、できるだけ多くの皆様に参加していただくべく、オンラインウェビナーとのハイブリッド形式で開催します。どなたでも参加いただける自由な講座です。ご参加をお待ちしています。

DAY① 2月3日(土)

たそがれの欧米文明 - ユダヤ人差別とイスラーム憎悪の傷跡

時間割 (1) 10:00～11:45、(2) 13:00～14:30、(3) 14:45～16:30

会場:M ウイング(松本市中央公民館 長野県松本市中央1丁目18番1号)
中会議室4-4

DAY② 2月10日(土)

20世紀イスラエル国家の成立 - 欧米の前哨／ホロコーストの罪責の「償い」?

時間割 (1) 10:00～11:45、(2) 13:00～14:30、(3) 14:45～16:30

会場:M ウイング(松本市中央公民館)中会議室4-4

DAY③ 2月17日(土)

パレスチナ問題にひそむ偽善と非法の暴力 — 公正な世界を築きなおすには

時間割 (1) 10:00～11:45、(2) 13:00～14:30、(3) 14:45～16:30

会場:あがたの森文化会館 講堂 第一会議室

◆ 内容については、裏面をご参照ください。部分聴講も可能です。

参加費:信州イスラーム世界勉強会 会員/学生 ウェビナー視聴 無料
会場参加 ¥500 (当日配布資料代として)

会場参加 各回 先着40名様 ZOOM ウェビナー 人数制限なし
部分聴講も可能です。

参加・視聴ご希望の方は事前に下記のQRコード/URLからお申込ください。
お申込みいただいた皆様に当日の資料・参加要項(ZOOMのURL等)を改めてご連絡いたします。

<https://docs.google.com/forms/d/1DIJLJeGuyOaNvfu9Nr-yKRX-9T1p-OaXd>

勉強会のブログからも申し込みが可能です。

<https://muslimworld.naganoblog.jp/>



主催:信州イスラーム世界勉強会

講師略歴

板垣雄三：プロローグ：「イスラエル・パレスチナ問題 入門から物知りへ 最短コース」



93才、パレスチナ問題研究70年。東京大学・東京経済大学各名誉教授、文化功労者。
第1次・2次石油危機や湾岸戦争を早く警告／「イスラーム化と近代化」・「イスラームの都市性」等の国際共同研究を組織／「日本とイスラーム世界の文明間対話」招集者など。

「イスラエル・パレスチナ問題」〔入門から物知りへ 最短コース〕集中講座 全3回

主催 信州イスラーム世界勉強会 講師 板垣雄三

集中講座は、**2024年2月の下記の3土曜日**に開催します。おおいに学びを楽しみましょう。ハイブリッド形式でオンラインでも聴講可能です。この催しについての参加費は、本会会員（規約により）のほか、学生の方は無料、会場参加で資料を受け取られる方は1日ごとに500円とします。

DAY① 2月3日(土)、 DAY② 2月10日(土)、 DAY③ 2月17日(土)

各日の時間割は、(1) 10:00~11:45、(2) 13:00~14:30、(3) 14:45~16:30 とします。

内容としては、広い時間・空間の視野において「ユダヤ人問題」・「パレスチナ問題」の構造を俯瞰し、なぜそうなったかを検討し、これからの世界のあり方・変わるべき姿を考えようとするものです。

DAY① 2月3日(土) たそがれの欧米文明 — ユダヤ人差別とイスラーム憎悪の傷跡

会場：Mウイング(松本市中央公民館) 中会議室4-4

- (1) 基本コンセプト(ユダヤ人、アラブ、パレスチナ人、イスラエルの民・市民、異邦人、シオニズム、エルサレム、ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教、聖地、聖典、神との契約、預言者、…)
- (2) ユダヤ人差別・迫害の歴史、宮廷ユダヤ人、金融業、寛容、啓蒙、同化、キリスト教終末論
- (3) 十字軍、東方問題、アシュケナズィーム・スファルディーム・ミズラヒーム

DAY② 2月10日(土) 20世紀イスラエル国家の成立 — 欧米の前哨／ホロコーストの罪責の「償い」?

会場：Mウイング(松本市中央公民館) 午前：中会議室4-4／午後中視聴覚室

- (1) フランス革命、帝政ロシア、シオニズム
- (2) 第1次世界大戦、オスマン帝国分割、英国三枚舌、サンレモ会議、シオニズム、ナチズム
- (3) ショアとナクバ、国連総会決議181、「独立戦争」、D計画、スエズ戦争、六日戦争、核武装

DAY③ 2月17日(土) パレスチナ問題にひそむ偽善と非法の暴力 — 公正な世界を築きなおすには

会場：あがたの森文化会館 講堂 第一会議室

- (1) パレスチナ解放機構 PLO、「〈テロ〉との戦い」のはじまり、イスラーム主義、インティファダ
- (2) 「既成事実化」としての「中東和平」、「二国家方式」=「オスロ合意」溶解、「反テロ戦争」
- (3) 2023年10月7日の「破裂」をとりまく国際環境の総体と表面化した世界秩序解体の意味

※以上の内容の概要予定表は、2023年11月10日段階で作成のものなので、その後には生じる国際政治の変化の様相に応じて、

DAY①②③の構成のあらゆる箇所を、追加や組み替えを、積極的にこなう可能性があります。